

栃木県版「まち・ひと・しごと創生総合戦略」骨子案

ポイント

- 本県の総合戦略の特色として、若い世代の家庭・地域を支える意識や、ふるさと栃木への誇り・愛着等の醸成、「選ばれるとちぎ」の実現に向けたブランド力の向上、平均寿命の延伸とそれを上回る健康寿命の延伸等の取組を展開
- 基本的な役割分担のもと、県及び市町が相互に連携し、車の両輪となって人口減少の克服、及び人口減少社会への適応に取り組む
- 各基本目標及び政策に総合的なアウトカムの成果指標及びKPIを設け、『とちぎで結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる』の成果指標は「合計特殊出生率（出生数）」を検討

人口ビジョン【人口の現状を分析し、目指す将来の方向性と平成72年（2060年）までの人口の中長期的展望を提示】（要旨）

目指す将来の方向性

- 若い世代のとちぎの将来を担うという思いやその思いに社会全体で応えるという意識の醸成
- 雇用の創出等により、若い世代の経済的基盤を安定させ、結婚・妊娠・出産・子育ての希望を実現
- とちぎへの移住・定住を促進

人口の中長期的展望

- 平成42年（2030年）までに、合計特殊出生率を県民の希望出生率の1.90程度に向上・人口移動を収束させることなどにより、平成72年（2060年）に約150万人を確保できる見通し
- 合計特殊出生率が向上等しても、当面の間は、人口減少は不可避

総合戦略【人口ビジョンに掲げる目指す将来の実現に向け、平成27～31年度（2015～2019年度）の5ヵ年の基本目標や政策、施策展開の基本的方向等を提示】

I 基本方針

1 戦略構成

- 2つの戦略を同時並行的に展開
 - 合計特殊出生率（出生数）を向上、及び東京圏への人口移動を収束等させ、人口減少に歯止めをかける「攻」の『人口減少克服戦略』
 - 今後の人口減少、及び人口構造の変化に対応した社会システムへの転換を進める「守」の『人口減少社会適応戦略』
- 人口減少の克服、及び人口減少社会への適応に向け、政策分野ごとに4つの基本目標を設定
 - 1 とちぎに安定したしごとをつくる
 - 2 とちぎへの新しい人の流れをつくる
 - 3 とちぎで結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる
 - 4 時代にあった地域をつくり、とちぎの安心な暮らしを守る
- 各基本目標及び政策に、総合的なアウトカムの成果指標及びKPI（重要業績評価指標）を設定
- 総合戦略は、基本目標、政策、施策展開の基本的方向等を取りまとめた「基本計画」と各年度に取り組む具体的な施策を取りまとめた「実施計画」で構成（「基本計画」は、平成27年10月末、及び「実施計画」は年度末に策定・改定）
 - ※ 実施計画に右記の「産・官・学・金・労・言」等との施策の検証・見直しを反映

2 戦略展開に当たっての基本的視点

- 地域経済分析システムや各種調査結果等の客観的データから、的確に課題等を抽出
- とちぎの強みや可能性を生かす視点に立ち、また、ターゲットを絞り、施策を立案するとともに、他都道府県との連携も考慮
- 国の総合戦略、及び『「まち・ひと・しごと創生」政策5原則（自立性・将来性・地域性・直接性・結果重視）』を踏まえ、施策を検討・展開
- 「産・官・学・金・労・言」等の外部有識者会議により、施策の検証・見直しを実施

3 基本姿勢

- 人口減少をめぐる課題や目指す将来の方向性を県民と共有し、協働で取り組む
- 次の基本的な役割分担のもと、県及び市町が相互に連携し、車の両輪となって取り組む
 - 【県】雇用の創出やU・I・Jターンの促進など、広域にわたる施策を展開するとともに、市町におけるそれぞれの地域の課題を踏まえ、様々な角度から支援
 - 【市町】基礎自治体として、子育て支援やまちづくりなど、住民に身近な施策を展開
- 本県の総合戦略の特色として、若い世代の家庭・地域を支える意識や、ふるさと栃木への誇り・愛着等の醸成、「選ばれるとちぎ」の実現に向けたブランド力の向上、平均寿命の延伸とそれを上回る健康寿命の延伸等の取組を展開

II 基本目標・成果指標・施策展開の基本的方向

III 政策・KPI・主な施策（イメージ）

克服戦略／適応戦略

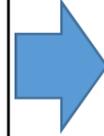
1 とちぎに安定したしごとをつくる

多彩な農業や豊富な森林資源、ものづくり県としての産業集積、豊かな自然・誇れる文化などのとちぎの強みを生かし、産業競争力を強化し、安定した雇用を創出

【成果指標例：県民所得・雇用創出数】

《施策展開の基本的方向》

- ものづくり産業と並び、とちぎの経済を牽引する新たな成長分野の産業の創出
- 第1・2・3次産業のバランスのよい発展
- 経済成長の著しい東・東南アジアなどの活力をとちぎの産業の活性化につなげる
- とちぎの産業を支える企業の生産性を向上
- 若者、女性、高齢者、障害者等の潜在的労働力人口を雇用につなげる



- 農業の成長産業化【KPI：農業産出額】
＜主な施策＞ ○○○○○○
- 林業・木材産業の成長産業化【KPI：林業産出額】
＜主な施策＞ ○○○○○○
- ものづくり産業・商業・サービス業の成長【KPI：製造品出荷額等 外】
＜主な施策＞ ○○○○○○
- 外国人等観光誘客の推進【KPI：観光総消費額】
＜主な施策＞ ○○○○○○
- 潜在的労働力人口の就労促進【KPI：就業率・雇用率】
＜主な施策＞ ○○○○○○

克服戦略

2 とちぎへの新しい人の流れをつくる

首都圏北部に位置し、交通の要衝にあるなどの立地条件や卓越した技術を有する企業集積等のとちぎの強み、特色ある高等教育機関の機能などを生かし、人を呼び込む

【成果指標例：都道府県間人口移動数】

《施策展開の基本的方向》

- 人口の流出抑制及び流入促進に向け、とちぎで「学ぶ」・「働く」・「暮らす」の各ライフシーンに応じた取組を展開



- 高等教育機関の活性化【KPI：県内大学への進学者割合】《学ぶ》
＜主な施策＞ ○○○○○○
- 企業誘致の推進【KPI：工場等立地件数】《働く》
＜主な施策＞ ○○○○○○
- 東京圏からの人材還流の促進【KPI：移住あっせん数】《暮らす》
＜主な施策＞ ○○○○○○

克服戦略

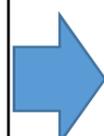
3 とちぎで結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

社会全体で結婚・妊娠・出産・子育てを支援し、若い世代が安心して子どもを産み育てられる環境を整備

【成果指標例：合計特殊出生率（出生数）】

《施策展開の基本的方向》

- 未婚化・晩婚化・晩産化の流れを変えるため、社会全体で「結婚」・「妊娠・出産」・「子育て」の各ライフステージを切れ目なく支える環境をつくる



- 結婚支援の充実【KPI：婚姻率（婚姻数）】
＜主な施策＞ ○○○○○○
- 妊娠・出産支援の充実【KPI：妊娠・出産について満足している者の割合】
＜主な施策＞ ○○○○○○
- 子育て支援の充実【KPI：保育所待機児童数・放課後児童クラブ待機児童数 外】
＜主な施策＞ ○○○○○○

適応戦略

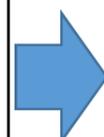
4 時代にあった地域をつくり、とちぎの安心な暮らしを守る

各地域において、必要な住民サービスが提供できるよう市町が取り組む持続可能なまちづくりを支援

【成果指標例：住みやすさなどに関する指標（検討中）】

《施策展開の基本的方向》

- 市町が取り組む地域の拠点性の強化や広域連携による経済・生活圏の形成、高齢者が健康で安心して暮らせるまちづくりなどを支援



- コンパクト+ネットワークの形成支援【KPI：小さな拠点等取組件数】
＜主な施策＞ ○○○○○○
- 定住自立圏の形成支援【KPI：市町協定締結等圏域数】
＜主な施策＞ ○○○○○○
- 地域包括ケアシステムの構築支援【KPI：訪問看護ステーション数（看護師数） 外】
＜主な施策＞ ○○○○○○